

に生まれ変わる。そして、山不在高有仙則名(山は高きにならず、仙有らば則ち名あり※8)という漢詩のように山のコンテツツに目を向けるようになる。未来の新しい富士が、ふじのくにが中国、韓国と一所に集まると思っています。

知事 光は粒子か波動かという対立を、東洋哲学に関心をもちたポーアは易经の陰陽のよう互いが互いを生み出す「相補」と考えました。「接化群生」は初めて聞きましたが、生命の多様な展開をとらえた表現ですね。韓半島に海で「接」する海洋日本と、陸で「接」する大陸中国とが、韓半島を媒体にして「化学反応をおこし両方が相補って「群生」していくということになりましょうか。ジャンケン構造の応用ですね。

李氏 東アジアだけではなく北斎の多視点と謙齋の高視点をもちと広げると地球の全図一万年二千のボンウリ(峰)が見えるでしょう。ヨーロッパの大陸文明がコーカサスとかシルクロードの



ユーラシア大陸を東に向かつて、横断して中国にたどりついて北朝鮮まで、これと対に海洋文明が大西洋を越えてアメリカに渡ってさらにアメリカから太平洋を回りハワイ、日本そして韓半島の南まで、簡単に要約すると韓半島の北は大陸の突端、韓国は海洋勢力の先端、韓半島でそれが出会っている何千年の流れが、壮大な文明の物語が目の前に見えてくるでしょう。

知事 壮大ですね。

李氏 漢字の言葉にもちゃんと刻まれていますね。シルクロードなど大陸回りに入った西方民

すね。韓半島は文明のインターフェイスで地球的世界を包摂している。ディテールの半島に神が宿っている。それがどういう生命世界に通じているのかを教えてくださいました。学者は学徳を積み、政治にたずさわる者は学問を大事にしてそういう大きなビジョンを理解しないといけませんね。

李氏 すると生命が見え、採集時代から農業時代、産業時代、情報時代の次に生命の時代が来る。東と西、海と陸そして霊と肉が融合する。それで対立が相補になる生命化時代を迎える朝が来る。大きな夢ですよ、その辺少し説明が必要だと思います。私はデジタルとアナログが一つに融合するアジログ(DER G I L O G)のポスト情報化時代を予測した文明論と、次にその続編として生命が資本だといふ本を発表しました。それがいまになってまぐれ当たりと言っても構いませんが予測どおりグーグルのデジタル企業が自律走行車を作ったり、ネット

族のものには「胡が、つまりアラビアンナイトの「開けゴマ」の「胡麻」からクルミの「胡桃」、キュウリの「胡瓜」、「胡椒」、「胡弓」、「胡笛」、などが「韓国にはもっと多いんですが」日常語に根付いています。これと同時に開化後海から入った文物には「洋」ですね。洋服、洋食、洋館の衣食住をはじめ数えきれないほど多いですね。シルクロードを通じて入って来たローマングラスは、「瑠璃」と書くし、開化の後に海から来たのは「ガラス」なんですね。同じガラスでも名が違わうんです。

知事 文明史のグローバルな見取り図ですね。源をギリシャに取れば、大陸周りの原点はランドパワーのスパルタで、海洋周りの源流はシーパワーのアテネです。スパルタからシルクロードを東進すれば中国に至り北朝鮮に達します。アテネから地中海を西に進めばイギリス、大西洋を越えてアメリカ、太平洋の対岸の日本に達し、海を渡れば韓国です。韓半島は大陸周りと

で物を売るアマゾンがオフラインでマーケット(A m a z o n ・ G O)を開いたり大転換が起こったのです。確かなことは私が15年前にアジログと命名したのが今そっくりそのまま、シリコンバレーで起こっているんですね。ただそれをサイバーフィジカルシステム(c y b e r p h y s i c a l s y s t e m)略してC P Sとよんでいるだけなんです。しかしなぜか日本ではそれを第4次産業革命、ドイツではインダストリー4.0と呼んでいるので、古い製造業のフレームとビジネス界の狭い概念でとらえているような気がするんです。しかし農業時代ではお茶の名産地で豊富な食文化を生かし、産業時代ではホンダのバイク、ヤマハの楽器などの工産品を世界に送り静岡の不二神話を作った。ではAIによるアジログの生命資本の時代には、新しい不二のイメージはいかに変わるのかを川勝知事に期待しているのです。

嫌韓、反日そして中国の脅威

海洋周りのターミナルです。先生の見取り図によれば、海洋文明のシーパワーと大陸文明のランドパワーとが接するのがまさに韓半島です。半島が「相補」して異なる文明が相生し、新たに「群生」ということですね。

李氏 韓半島は東アジアでは中国と日本のあいだにあり、世界では大陸と海洋の両文明が出会う地政学的界面として作用しています。良い意味でも悪い意味でも小さな分断国ですけれど、ここが世界で未来の文明だと言っても、おかしくない事がいっぱい起こっているのです。人類文明を分ける大イベントであったアルファ碁がなぜ北京、東京ではなくソウルであったのか。当然日本側で見ると中国が大きく見えるでしょう。しかし千年二千年単位の大凸レンズで見ると、日韓関係がより大きく見えるのです。

知事 いや、感じ入りました。日本でも日韓の重要性を知る知事がいます。先生は奈良県立大学名誉学長ですが、奈良県知事の

はみなが負けるジャンケン構造ですよ。エントロピーじゃなくてネゲントロピーの相生に向かって、大きな声で子供のようになり、顔を真っ赤にして叫ぶのです。今までのジャンケンポンの三棘みとは違う、カイ、パイ、ポーとー世界の山びこが響くように。

知事 生命力、生命資源、生命資本、接化群生など、今日は県政を進める上で、最高の知恵の贈りものをいただきました。生命資源が豊かな、たとえば静岡県は、海と山の風景の画廊です。花の種類が多い花の都、日照時間が長い太陽の都、茶の都、富士の湧水と南アルプスからの河川群で水の都でもあります。自然の本質である多様性を示すものがそろっています。生命資源の多様などころは見えて美しく、芸術的靈感の源泉です。

生命が輝く時代を開きなさいという、韓流の壮大な文明の物語をお聞かせいただきました。すばらしいお話をありがとうございました。

李氏 頭上三尺で自身を見ると見えるんですよ。陸と海ではなく天から見ると。

知事 メタ富士とは天のことで

※8 山はその高さに意味があるのではなく、水はその深さに意味があるのではない。一切のものは表面より内側が重要、という意味の中国のことわざ